

JAPAN, HAWAII, NORTH AMERICA, SOUTH AMERICA, BRISBANE, PARIS

Kaikyo

HONEN BUDDHISM
2022

浄土宗
Jodo Shu
Buddhist Denomination

2 新任ご挨拶

浄土宗開教振興協会理事長
杉山 俊明

海外開教

3 南米開教区

クリチバ日伯寺本堂 建立事業を開始しました

南米開教区開教総監 佐々木 良法

4

開教振興協会より勧募のお願い

5

ハワイ開教区

開教使・開教助員オンライン研修会報告

ハワイ開教区開教総監 石川 広宣

6

北米開教区

2021(令和3)年度の法務活動について

北米開教区総監 後根 定肇
本院主任 田中 孝道

7

オーストラリア開教地

オーストラリアに渡ったお念仏

オーストラリア開教地主事 ウィルソン 哲雄

8

フランス開教地

ドイツにて帰敬式を行いました

フランス開教地主事 高僧 光隆

国内開教

9

国内開教通信

宮城県仙台市 十念寺

住職 伊東 秀真

沖縄県豊見城市 聖蓮寺

住職 大和田 聖二

11

各開教区開教使名簿

12

第12回開教公開カンファレンス

コロナ禍社会に役立つお寺に ー今何ができるかー

13

浄土宗開教振興協会

令和3年度 会員名簿

18

浄土宗開教振興協会 役員名簿

浄土宗開教振興協会 事業報告

19

浄土宗開教振興協会

令和3年度 決算書

21

令和3年度 教区別正会員比率

22

会員の声

海外開教や開教振興協会への思い

長野教区伊那組 柏心寺 安静 達祐

編集後記



新任ご挨拶



浄土宗開教振興協会理事長
杉山 俊明

令和3年12月17日に開教振興協会理事長を拝命いたしました、杉山俊明でございます。かねてより副会長として当協会に携わらせていただいておりますが、この度、理事長を務めさせていただくこととなり、改めて身が引き締まる思いであります。

当協会は昭和51年に設立され、以降様々な開教施策をおこなって参りました。海外開教区・開教地、国内開教寺院との緊密な連絡連携のもと、一定の成果をあげて参りましたが、海外はもとより日本国内における昨今の社会情勢、開教の現状を鑑みますと、協会自体が大きな転換期を迎えていくべきであると認識しております。改めて協会の在り方を見直し、より細部に目を向け、浄土宗の教えを

広く伝えていくことのできる組織づくりを目指すとともに、日頃よりお力添えをいただいております皆様に、改めて開教の意義深さを感じていただけるよう、協会をあげて鋭意尽力して参る所存でございます。

最後にはなりますが、この度、令和5年に南米開教区が開教70周年を迎えるにあたり、佐々木良法開教総監のもと、南米開教区クリチバ日伯寺本堂建立事業が開始されました。それに伴い、令和4年1月より勧募をおこなっております。宗内ご寺院、諸大徳並びに檀信徒の皆様には、どうか南米開教区の熱い想いと趣旨をご理解の上、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合 掌

南米開教区

South America

クリチバ日伯寺本堂
建立事業を開始しました

南米開教区開教総監 佐々木 良法

南米開教区では「南米の大地に
お念佛の声を！」を合言葉に、サン
パウロ、マリンガ、イビウナ、クリ
チバの4カ寺を拠点に開教事業
を展開しております。そして、
来る2023年に開教70周年を
迎えるにあたり、記念事業とし
て「クリチバ日伯寺本堂建立」が
本格的に始動いたしました。

クリチバ日伯寺は、協力者の
会社の机1脚を事務所として開始
するという、まさにゼロからの

スタートでした。その後、クリチバ
中心街の小さな一軒家を借り、
2008年1月25日に開基法要
を行い、本格的に寺院活動を開始
しました。その借家も、檀信徒が
徐々に増え、ご縁が広がるにつれ
手狭になり、より大きな借家に移
転、開基10年目に、神戸市中勝寺・
藤井上人より寄贈の弥陀三尊を
ご本尊として請来いたしました。
また同年に五重相伝を開筵する
法縁も授かり、受者45名が成満、
檀信徒の信仰と結束も深まり、
開基以来念願の本堂建立事業の
機運高まる中、土地が見つかり、

当開教区理事会、

浄土宗本部と協議

を重ね、開教振興

協会からの土地購

入費用の貸付ご協

力も頂き、開基よ

りちょうど14年を

迎えた2022年

1月25日、法然上

人ご命日に購入、



現在の境内（パラナ松）

地権引継ぎの運びとなりました。
つくづく仏縁の有難さを感じて
おります。

この土地は、市外にある空港と
クリチバ市中心地を繋ぐ幹線道路
に面しており、交通の便も良く、
敷地内には、クリチバのシンボル
「パラナ松」が聳え、緑多く心地
いい景観に、檀信徒の皆様からも
好評をいただいております。

幸いにも2棟の既存家屋が使用
可能であったため、昨年9月に移
転、そのうち1棟を仮本堂及び
庫裡として使用しております。
コロナ禍の沈静化に伴い、お寺
での法要を希望する方が増えて
きましたが、20名も入れない広さ
のため、いち早い新本堂建立が
求められております。現在、もう
1棟を庫裡とお寺のキッチンに
改修する工事を開始、改修後、



仮本堂での法要（オンライン併用）

今の仮本堂の場所に地下駐車場、
本堂、教化ホールを新築する工事
へと進んで行きます。

寄付勸募活動ですが、コロナ禍
で遅れたものの、ブラジル国内では
2022年1月より開始し、瓦
志納も準備しております。当寺を
クリチバ市のみならず、ブラジル
南部のお念仏の拠点とすべく、ご
縁のあるパラナ州各市、さらには
隣のサンタカタリナ州の日系社
会にもご協力をお願いしていき
ます。

勸募活動に加え、移転前後より、
建立資金の一助として、月に1度、
感染防止対策を徹底しながら食品
バザーを行っております。婦人会
の手料理を中心に、飲食業の檀信
徒からも出品して頂いております。
更には、古着や生活用品のバザー
も2ヶ月に1度行われ、多くの方



サンタカタリナ州ラーモス移住地寄付勸募



2022年1月25日土地購入地検引継契約

開教振興協会より勧募のお願い

南米開教区では、来る2023年に開教70周年を迎えるにあたり、所属開教使や開教助員、檀信徒の方々の熱い想いをもって、南米開教区クリチバ日伯寺本堂建立事業が開始されました。事業開始に伴い、ブラジル国内はもとより、日本国内でも浄財の勧募をお願いしております。皆様におかれましては、クリチバ日伯寺本堂建立の趣旨を御賢察のうえ、絶大なる御協力を賜ります様、謹んでお願い申し上げます。

建立事業趣意書

期間	2022(令和4)年1月～ 2024(令和6)年12月
建設内容	本堂建立、教化ホール建設、 境内設備等
総予算	約1億2千万円

勧募要項

勧募期間	2022(令和4)年1月1日～ 2024(令和6)年3月31日
勧募目標金額	6,100万円
功績点の付与	(1)個人寄付金 5万円に対して1点 (2)勧募寄付金 20万円に対して1点
勧募母体	浄土宗
勧募窓口	浄土宗開教振興協会
勧募方法	郵便振替(専用の振替用紙がございます。) 振替口座：00160-5-175767 ※銀行へのお振込みをご希望の方は 問い合わせ先までご連絡ください。

※浄土宗開教ネット(URL: <https://kaikyonet.jodo.or.jp/>)内の
当事業特設ページには、【勧募のお願い】動画を掲載しております。
併せてご視聴ください。

[https://kaikyonet.jodo.or.jp/
curitiba-kanbo/](https://kaikyonet.jodo.or.jp/curitiba-kanbo/)



▲ 浄土宗開教ネット



バザーの準備(青年たち)



古着 & 日用品バザー

にご利用いただいております。
これらの寄付勧募活動を通じて、地元クリチバ市の方々はもちろん、他地域の方とも広くご縁を結び、お年寄りから子供まで広い世代に対応、一人一人に寄り添いながら、「あなたと共に生きるお寺」として歩んでいきたいと考えております。
当開教区は、未だコロナ禍の影響が色濃い世相の中、オンラ

インを積極的に利用するなど、状況に柔軟に対応しながら開教活動を継続しております。クリチバ本堂建立が、70年の節目を迎える当開教区の主な記念事業ではありますが、並行して各寺院での記念事業、開教区全体の更なる教線拡張、布教活動も推進せねばならず、そのために現在の開教使陣では人手不足であり、早急に新しい開教使を必要とし

ています。「念仏の声する処 我が遺跡なり」南米の大地に元祖法然上人のご遺跡を私達と一緒につくりましょう！自薦他薦を問わずお待ちしております。
最後に、開教70周年記念事業の趣旨をご理解頂き、絶大なるご協力と更なるご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

合掌

令和3年度

開教使・開教助員

オンライン研修会報告

ハワイ開教区開教総監 石川 広宣

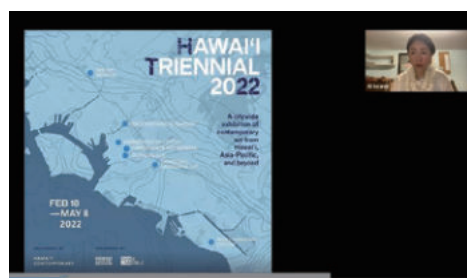


2022年3月3日、ハワイ開教区では昨年引き続きズーム会議方式でオンライン研修会を開催しました。講師は、ホノルル市開催の芸術祭「ハワイ・トライエニアル」に参加出展の写真家・岩根愛氏。ラハイナ浄土院の盆ダンス等が作品として展示されていることから、展示写真のお披露目、解説を兼ねて講話を頂きました。

岩根氏は、20

06年頃からハワイ日系人とその文化に興味を持ちはじめたとのこと。戦前より使用されていたパノラマ写真機材であるコダック社サーカットを入手後、ハワイの各地

や盆ダンスをパノラマで撮影。特に、ハワイと福島の「盆ダンス」のつながりをテーマとした写真集「キブカ」で、第44回木村伊兵衛賞・伊奈信男賞を受賞。キブカとは、ハワイ語で新しい溶岩に囲まれた古い大地の意味。古い大地に根づいた植物の種がやがて風によって運ばれ新しい大地に根づいていくように、「命の絆、つながり」をテーマに作品を解説して頂きました。



オンライン研修会

新任ご挨拶



田邊 孝顕

はじめまして。2021年10月よりハワイ開教使を拝命しました田邊孝顕と申します。赴任先は州都ホノルル市にありますハワイ浄土宗別院です。研修期間を経て現在は隔月でカウアイ島へ長期出張。カパア浄土院に駐在し、コロア浄土院の法務も担当しております。

実はカウアイ島への出張は、入国直後、空港で出迎えて頂いた総監より別院へ向かう車中で初めて伺った話でした。最初こそ不安でしたが、今ではすべてがよい経験となりつつあります。当初、メンバーさんとのやり取りから会議



仏式結婚式のアシスタントとして写真撮影をする田邊開教使

ご法事・法話・病院からの緊急呼び出し・車の定期点検など思うように話せない日々でした。それでも大らかで温かいハワイの方々、先輩方の支えのおかげで、なんとか一人で勤められるようになりました。正直英語はまだですが、日本にいた頃よりも着実に聞き取り、話せるようになってきたと思います。

さて、日本を立つ前から抱いていた私の目標は、お念仏をベースに人と人がつながる場を作ることです。よりお寺を身近に感じていただけるような、そんな場ができたらと思っています。

昨今、少しずつコロナも収まり、海外旅行への抵抗も減ってきました。ぜひ一度、ハワイにお越しただけいたら嬉しいです。



メンバーと談笑する田邊開教使

北米開教区

North America

2021(令和3)年度の
法務活動について北米開教区総監 後根 定璽
本院主任 田中 孝道

2020年春以降COVID-19感染拡大と共に、当地では「治安悪化・ホームレス増加」の2つの問題がより顕在化しました。米国の感染拡大は人口約3.3億人に対し感染者数約8,550万人・死者数約100万人(2022年6月現在)に及び、死者数は日本の約33倍にあたります。要因の一つに、米国民の基本的な健康

状態の格差があると言われます。

米国には国民皆保険制度はなく基本的な医療費が高額ゆえ、誰もが平均的な医療を享受する社会とは言えません。COVID-19でも、既往症を持つ患者が感染による合併症で、また介護施設での集団感染により多くの高齢者が死亡する例が全米各地で多発しました。葬儀も一時は野外テントでしか許可されず、あるいは国内移動制限により遺族がロサンゼルスに來られず半年以上延期して勤めた葬儀もありました。

また、感染拡大と同時期、警官による黒人射殺事件(2020年5月、ミネソタ州)から抗議運動が全米に広がり、当地の治安は

著しく悪化しました。自宅待機令

施行中とはいえ、米国では抗議という市民の自由意志表示は制限されません。人種差別への抗議デモが政治的左傾化から警察予算撤回運動と化し、ロスでは暴徒が商店を襲う事態に発展、一時は州兵が配置され戒厳令による夜間外出禁止が続きました。加えて、2021年初頭はアジア系への人種差別と見られる破壊行為が頻発、当院は玄関ガラス破損、近隣寺院は放火等の被害に遭いました。

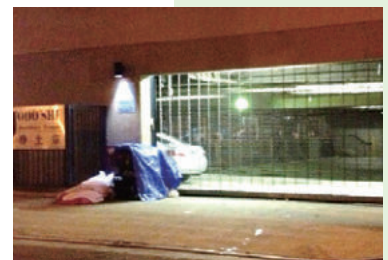


本院周辺側道

この間、ロス郡(人口約990万人・関東地方と同等の広さ)ではホームレス人口が約6.6万人に増加しました。特に、約1.1平方km内に5,000人超のホームレスが集中する貧民区があり、北米本院もここに位置します。ホームレスの多くは薬物中毒・精神疾患者であり、本院周辺の歩道も日常的に占拠され、汚物・落書き・破壊被害が絶えません。警察も歩道からホームレスを退去させる法的

強制力を有さぬため、地域と協力し清掃及び警備にあたっています。このような状況下で懸案の堂宇移転事業にも甚大な影響を受けていますが、ご本尊を護り念仏信者が安全にお参りできるよう現建物売却業務を続行しています。法務においても、昨年(2021)はすべての定例法要を本堂参詣と中継の方法で勤め、遠隔地への出向法要も行いました。また、昨年度より総本山知恩院版『法然上人御法語前後篇』英訳本の製作にあたっており、刊行の際はお念仏の教え・行に親しんでいただくテキストとして広く内外に配布します。

当地では今後もインフレや中間選挙等により不安定な社会状況が予測されますが、信徒及び地域との信頼醸成を第一に寺院活動を続けたい。



駐車場



寺院での法要(2021年お盆)

オーストラリア開教地

Australia

オーストラリアに渡った
お念仏

オーストラリア開教地主事 ウィルソン 哲雄

およそ25年前、増上寺第八十七世法主成田有恒師と知恩院元執事長牧達雄師によってオーストラリアにおける浄土宗の布教の重要性が受け止められました。2004年にブリスベンに阿弥陀寺が建立され、お二方の計画が現実のものとなりました。過去18年にわたる布教活動は、日本人コミュニティのみならず、オーストラリアでの広いコミュニティに重要な貢献を続けてきました。成田師と牧師はきつと満足してくれているでしょう。

日本人コミュニティ

にとって、阿弥陀寺は信仰生活をサポートする場です。日本から遠く離れていても変わることなく、自分たちが代々信仰

している仏教とつながりを持つことができるのです。8月にはお盆、3月と9月にはお彼岸に参加できます。これは、新しい世代の子供たちが仏教と文化にふれる機会にもなっています。このように、阿弥陀寺は将来的にも多くの世代にわたり、重要な役割を果たしていくと思います。

他にも信仰生活に必要な活動が数多く行われています。葬儀、法事は開教使が執り行うことができますが、もし開教使がいなかったら、どのようにご先祖様をご供養できるのでしょうか。木魚や大磬の音のない法事を、親族や友人はどのように感じるでしょう。きつと無念に感じないでしょうか。また、七五三ですが、子供たちは開教使によって執り行われる七五三のお祝いで信仰が始まり、阿弥陀寺との強い絆で結ばれます。

日本人コミュニティで務める傍ら、オーストラリア人コミュニティでも幅広く布教活動をしています。昨年7月、キリスト教の高校から講話の依頼がありました。



キリスト教の私立女子学校での講話



お彼岸会

そこで、日本仏教の歴史、法然さまの教えについて話しました。生徒たちはとても集中して聞き入っていました。最後に質問はないかと聞いたところ、ほぼ全員の生徒が手を挙げたことには驚きました。このような文化交流は、オーストラリアと日本の相互理解を深めます。昨年6月、日本領事館から在外公館長表彰を受けました。オーストラリアと日本の関係を強めた私の業績が、ブリスベン田中総領事から評価されました。特に、木曜島の日本人墓地の墓標の修復活動が認められたのだと思います。

生徒は現地の子供たちで、子供たちのご両親も一緒に授業に参加します。皆で折り紙や七夕、紙芝居などを楽しみながら、基礎的な日本語や日本文化を学んでいます。授業のあとに出される日本茶やお菓子も楽しみの一つとなっています。

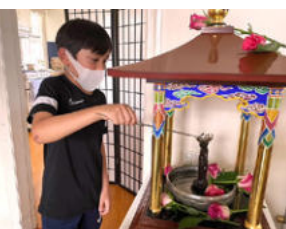


田中一成総領事から在外公館長表彰をいただく

阿弥陀寺での寺子屋も文化交流の役割をしています。阿弥陀寺もその流れに手を貸し、オーストラリアと日本の関係を更に良い方向へ導き、可能な限りお互いが深く理解し合えるように努めていきたいと思っています。お念仏の力をもってすれば、きつとできると願っております。



日本人の住んでいる老人ホーム



花祭り

ドイツにて
帰敬式を行いました

フランス開教地主事 高僧 光隆

令和3年上半年はコロナ禍継続でロックダウンがありZOOM使用の活動が多かった。そのZOOM使用で昨年フランス開教地補佐となったフランク光然が立ち上げたドイツのライン川浄土宗のメンバーとの交流、仏教講習会等も行った。9月に大本山清浄華院で開催された24時間不断念仏会ではZOOMを使用し、フランスとドイツのメンバー合同で参加した。

下半期にはロックダウンが緩和され、以前のようにホテルの会議



帰敬式の様子①

場を利用した活動に戻った。新年会も日本式にお屠蘇をいただき控えめながら行った。メンバーが一堂に集い、行事が出来ることはとても大切に有意義なことであると改めて感じた。

10月、ドイツで帰敬式を行った。フランク光然より、ドイツで真に仏教徒になり浄土宗の門に入りたい方が二人おり、帰敬式を受けることを希望しているとの連絡を受けた。私は了解し、帰敬式の準備を進めた。フランスで仏教結婚式は二つ行ったが、帰敬式は初めてのこと。欧州で行うのは貴重な機会であるので当協会の副代表橋本氏にその旨を話し、同行をお願いした。

10月中旬の週末、私たちは車にご本尊、観音・勢至菩薩像、仏具などを載せ、出発した。帰敬式を希望する二人が住むのはドイツ南東バイエルン州のティアースハイム市であるが、まずフランク光然とボン市郊外で合流し、それから



帰敬式の様子②

バイエルン州に向かった。約1000km以上の距離になるだろう。

翌日の昼過ぎに帰敬式受者の住む町に到着。式は彼らが住むアパートのサロンの一室で午後4時に開始した。道場洒水をし、厳かに開始。二人に対し、帰敬式について、お数珠の掛け方、合掌、礼拝の仕方など、そしてご本尊阿弥陀様、法然上人のことなどを説明。その都度、光然が通訳をつとめる。三帰三竟の説明は私が15歳ほどの頃に受けた得道式を思い、時の椎尾弁匡台下から受けた教えを話させていただいた。そしていよいよ帰敬式、受者二人の参加実践。

わたしはこの帰敬式のために



カボチャの種を持参してきた。当協会副代表はフランスで自然農業に従事しておるため、私は彼から種をいただき、3年前に拠点アコンで栽培を始め、昨年実に立派なかぼちゃが実った。持参したのはその種だ。小さな種の中に先祖よりのすべてがあり、それが大自然の生命のお陰を以て芽を出し、成長し、花が咲き、そして実が成ること、それとお念仏の思いを合わせてお話しさせていただいた。そして念仏唱和をし、式を終えた。この帰敬式が二人の良い思い出になるようお願い、式を厳修した。

翌日、二人はわれわれを昼食に招待してくれた。料理は一人が今は亡きチェコ共和国の祖母から教わったチェコ料理とのことだった。皆で合掌十念し頂いた。美味しく舌鼓を打ったことは言うまでもないことである。

宮城県仙台市

十念寺

住職 伊東 秀眞

コロナ禍での歩み出し

令和3年4月より国内開教使を拝命し、浄土宗の包括寺院として、同年7月に宮城教区第一組『十念寺』の認証をいただきました。開教寺院として開教活動を行うべく、法務等の研鑽を積んでまいりました。しかし、世界的な新型コロナウイルス

ウィルス感染症の影響は大きく、開教寺院としての年間行事等の寺院活動ができていないことを歯痒く思っている次第です。コロナ禍により生活様式が大きく様変わりし、人と人との交流も薄くなりつつある中で、今後の開教活動について考える貴重な時間と前向きに捉え、今できることに力を尽くしています。

現在の活動状況

寺院としての荘厳や広間の整備、ホームページの作成の他、お寺の年間行事の準備などをおこなっています。また終活セミナーや写経会、介護者カフェの開催に向けての準備にも取り組んでいます。こういったイベントは、お檀家さんや信者さんに関わらず関心のある方に広く参加していただけるようにホームページやチラシなどで告知活動を行う予定です。

将来の展望

現在のお寺は葬儀や法事などの限られた接点しかない場所になりつつあります。価値観の多様化のもと、お寺離れ・宗教離れも進んでいる一方で、「心のあり方」で悩む方も増えています。

当寺院では、お寺が担ってきた「地域の心の拠り所」を現代で実現するため、ご自身の死と向き合う終活セミナーや介護者同士の交流の場として「介護者カフェ」の開催を予定しています。

「終活」に取り組む方の多くが「遺される人に迷惑をかけないため」と、とても自律した考えをお持ちです。しかし、私たちは誰にも迷惑をかけないで、この世から旅立つことができるでしょうか。自身の死を思う時、だれにも迷惑をかけない死よりも、安心して縁のあるどなたかにお世話をお願いできる「つながりの

中にある生と死」にあたたかな希望を見出せるのではないのでしょうか。「介護者カフェ」の開催も孤立しがちな介護

者同士がお互いの胸の裡を語りあうことで、日頃のストレスから解放され、ホッとできる時間の共有を目的としています。法然上人の「凡夫が凡夫に寄り添う」のお言葉のとおり、寄り添いとつながりの中で得られる癒しがあると考えています。

悩みや苦しみもすべて受け入れてくださる法然上人の教えは、人生の幕引きの仕方、介護の問題などで悩む現代の人々の心に響くことでしよう。こうした活動が形式的な宗教ではなく、心のあり方として仏教に触れる機会になればと考えています。

今後も「地域の心の拠り所」であるお寺を目指して、身を引き締めて地道な開教活動を日々行いたいです。



開山法要



本堂



盆施餓鬼法要



法要時



外観

沖縄県豊見城市

聖蓮寺

住職 大和田 聖二

国内開教使として様々な助成を受けて5年が経ちました。開教使として浄土宗の教えを広める事に尽力して参りましたが、今でも手探りの中進んでいます。今回、お叱りを受けるかもしれませんが、私が5年で感じた事、実行してきた事、沖縄の現状を書きたいと思います。

まず、以前寄稿した際にも触れましたが、沖縄は今でも祖先崇拜が根強く残っており

「浄土宗？日蓮和尚よね？南無法蓮華経の：」

「とりあえず、亡くなった人にお経をお願いします」

「宗派は何でもいいよ」と言われる事が多くあります。宗派は気にしないのが沖縄です。

ここまでを前置きといたしました



大和田上人



動行の様子

て、私は在家出身の前職はダイビングインストラクターでした。接客業です。人の目の動き、動作、言葉の発し方(強弱)から一瞬で相手の気持ちを読み取り接しないと一見さんで終わってしまいますので、いかにして次回へ繋げるかが鍵でした。その経験を活かし、出家し僧侶となった私が強く信念としてきた事が「初めて会った人の気持ちを読み取ること」でした。もちろん僧侶に至るまでの修行において浄土宗の教えは心に強くありましたので、法然上人のみ教えを広めようと志してきました。

しかし、沖縄での布教の実態はそう簡単なものではなく

「法然上人、聞いたことあるかな？」

「浄土宗、あつ！浄土真宗ね」と全く興味の無い雰囲気が漂う現場を多く体験しました。もしかすると、私が思う布教はいま目の前にいる喪家には伝わらないのでは？そのような思いが日に日に増し、「何故なんだろう」と考える事が私自身を追い詰めます。加えて「あなた大和田って何処の出身ねえ、うちなあんちゅう(沖縄県民)じゃないね」や「ないちゃーかあ？(沖縄県外の人)」と聞かれることも多く、距離をおかれることも多かった事が一層私の気持ちを落とす結果となったことを振り返ります。

やはり、初対面の人いきなり法然上人のみ教えを伝えても心に留まらないのです。そこからです、接客していた頃を思い出し「人の目の動き、動作、言葉の発し方(強弱)から一瞬で相手の気持ちを読み取り接する事」を重んじ、布教の仕方を自分なりに工夫し考え行動しました。その結果多くの方が「大和田さん、うちなー料理は大丈夫？方言聞き取れる？」と歩み寄ってくれるようになり、少しずつ縁のあった方と信頼関係を築くことに繋がったと感じられるまでになったのです。今では、

私の生まれ故郷の茨城の文化や方言などを交えながら会話が出来るようになり「大和田さん、これから家族をよろしくね」と言われるまでになりました。

私自身、法然上人のみ教えを何とか布教したい思いは尽きませんが、それには限りなく長い年月が必要だと痛感します。もともと琉球王国であり、日本ではなかった土地が故の布教の難しさは現実問題として真摯に受け止め、これからの沖縄にとって必要とされる寺院の役割を時代のニーズに合わせ勤める事が今後の課題だと思っております。



法要の様子



花まつり (4月開催)

海外・国内開教使名簿

令和4年9月末日現在

海外開教区

		氏名	赴任寺院
ハワイ	開教総監	石川 広宣	ハワイ浄土宗別院・コロア浄土院・カピア浄土院
	開教使	高野 明宏	ハワイ浄土宗別院
		田邊 孝顕	ハワイ浄土宗別院
		江崎 晃司	ハレイワ浄土院
		宮崎 潤心	ヒロ明照院・カーチスタウン浄土院・ハカラウ浄土院
		ワジラワンサ舜爾	ハマクア浄土院・ハヴィ浄土院・コハラ浄土院
		原 源照	ラハйна浄土院
		原 潮音	ワイルク浄土院・カフルイ浄土院
北米	開教総監	後根 定璽	北米開教本院・シカゴ浄土宗教会所
	開教使	田中 孝道	北米開教本院
南米	開教総監	佐々木 良法	マリンガ日伯寺
	開教使	稲場 明忠	南米浄土宗別院日伯寺
		山田 英規	南米浄土宗別院日伯寺
		櫻井 聡祐	イビウーナ日伯寺
		大江田 晃義	クリチバ日伯寺

オーストラリア開教地

	氏名	指定地域
主事	ウィルソン哲雄	クィーズランド州ブリスベン一円

フランス開教地

	氏名	指定地域
主事	高僧 光隆	パリ市一円

国内開教

国内開教地域	寺院名	国内開教使
宮城県仙台市泉区及び富谷市とその周辺	十念寺	伊東 秀眞

開教活動に興味のある方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

浄土宗社会部

〒105-0011 東京都港区芝公園 4-7-4

TEL:03-3436-3351 FAX:03-3434-0744 MAIL:syakai@jodo.or.jp



コロナ禍社会に役立つお寺に — 今何が出来るか —

全体会の様子

日時 令和3年11月29日(月)
午後1時から5時まで

開催方法 Web会議システム「Zoom」

基調講演

鶴飼 秀徳師

京都教区正覚寺住職／ジャーナリスト

コメンテーター

戸松 義晴師

全日本仏教会理事長

①北米開教区・ハワイ開教区グループ

ファシリテーター：田中康道師（浄土宗開教振興協会）

書記・全体会発表：秋谷昇龍師（浄土宗開教振興協会）

発表者：北米開教区 田中孝道開教使
ハワイ開教区 石川広宣開教総監
江崎晃司開教使
原潮音開教使

②オーストラリア開教地・フランス開教地・南米開教区グループ

ファシリテーター：神田眞見師（浄土宗開教振興協会）

書記・全体会発表：正木唯心師（浄土宗開教振興協会）

発表者：南米開教区 大江田晃義開教使
櫻井聡祐開教使
櫻井志子開教助員

オーストラリア開教地
ウィルソン哲雄開教使

フランス開教地
高僧光隆開教使

③国内開教使グループ

ファシリテーター：笠原泰淳師（浄土宗開教振興協会）

書記・全体会発表：名和清隆師（浄土宗開教振興協会）

発表者：元国内開教使 岩崎念唯師（宮崎）
伊波清慈師（沖縄）
古川輝昌師（千葉）
笠原泰淳師（東京）

第12回を迎える今回の開教公開カンファレンスでは、「コロナ禍社会に役立つお寺に— 今何が出来るか—」というテーマを設け、各国をオンラインで結ぶ形式で開催した。

まず、基調講演として鶴飼秀徳師より、「寺院消滅からの脱却—コロナ禍の今こそ再生のチャンス—」をテーマに、浄土宗や大正大学が行った各種調査を基にした寺院消滅の可能性やコロナ禍による寺院への経済的影響が示されたうえで、アフターコロナの世界ではより

時代のニーズに応えた寺院となることの重要性が説かれた。さらに、コロナ禍は死生観を問い直す機会にもなったことから、「寄り添える寺院」「儀式を大切に寺院」として弔いを大切にすることが寺院消滅の脱却に繋がることが述べられた。

次に、基調講演の内容を受けて、参加者は3つのグループに分かれ、オンライン上にてワークショップを行った。それぞれ前回のカンファレンス時から当日に至るまでの状況の

変化、コロナ禍での活動や工夫、抱える困難や取り組みの成功例および失敗などを通じて、どのようなお寺がコロナ禍の社会に役立つのかについて議論を深めた。

続いて、ワークショップを行ったグループごとに意見等を報告し、全体での共有を図った。最後に基調講演をいただいた鶴飼秀徳師にグループワークを通じて挙げた工夫や意見に対するコメントを頂戴した。



グループでのワークショップの様子



『和合』令和4年3月号2ページから9ページに本カンファレンスの報告を掲載しております。当日の様子は浄土宗開教ネットから、また左記コードより全編ご視聴いただけますので是非ご覧ください。

會員名簿

■原則として功績点付与者を掲載しています。

名誉会員

(所属は納入時)

【教区(組)】		【寺院名】		【氏名】	
青森	北	葉王寺	藏澤	豊彦	
山形	上	稱念寺	井澤	隆明	
宮城	下	本覚寺	長谷川	篤弘	
福島	第一	西方寺	大江田	博導	
茨城	中央	善導寺	中村	隆敏	
埼玉	常総	弘経寺	金田	道彦	
東京	第三	圓福寺	池田	常雄	
神奈川	浅草	長壽院	北川	順也	
長野	北部	公春院	中野	正博	
静岡	小田原	道場院	都築	融光	
三河	小田原	春光院	石川	邦雄	
岐阜	諏訪	光林寺	西澤	一眞	
石川	諏訪	来迎寺	服部	徳雅	
滋賀	清水	實相寺	中村	康雅	
京都	豊川	上善寺	高木	孝顯	
大阪	城北東	西林寺	加藤	孝爾	
兵庫	高須	圓満寺	石川	一宣	
福岡	浅野川	玄門寺	浅井	一朗	
	湖南	西方寺	牧	達玄	
	鴨川	長安院	若菜	俊夫	
	東摂	一心寺	高口	恭行	
	第三河	乗雲寺	山村	良成	
	泉南	観音寺	山田	祥隆	
	武崎	西教寺	鶴田	幹夫	
	摂陽東	観音寺	池上	昭信	
	宗像	大林寺	木下	達雄	
	教安寺	橘本	定雄		

贊助會員

(所属は納入時)

【教区】組		【寺院名】氏名	
北海道第一	小樽	寶隆寺	寺井 孝嗣
		無量壽寺	松尾 昭男
		直行寺	野村 定弘
北海道第二	東	浄土寺	石上 源應
		浄土寺	長尾 繁範
		大成寺	藤井 乘亮
		浄土寺	渡部 徳史
	南	菩提寺	若木 祐之
		天龍寺	松尾 孝祐
		天龍寺	長尾 玄龍
青森	弘南	貞昌寺	赤平 法導
		長寿院	佐藤 紫柳
	西	莊嚴寺	鈴木 信然
	東	正覚寺	番地 章夫
	北	佛心院	工藤 敦昭
岩手	花巻	廣隆寺	吉水 玄雅
		真城寺	吉水 仁教
山形	山形	梵行寺	長澤 明好
	上	佛向寺	井澤 隆徳
		來運寺	東谷 信昭
	中	安養寺	伊藤 正弘
	下	大督寺	佐藤 知雄
	鶴岡	林昌寺	齋藤 浩明
	酒田	林昌寺	齋藤 知明
宮城	第三	浄土寺	東澤 良雲
		極樂寺	川井 達雄
	第六	増福寺	柴田 典昭
福島	浜通り	浄應寺	小野 道雄
	中央	善導寺	中村 隆敏
	会津	長泉寺	大橋 智海
群馬	高崎	大信寺	長谷川 嘉辰
	太田	受樂寺	加藤 逸彦
栃木	足利	法玄寺	和田 幸信
茨城	水戸	光台寺	野田 輝秀
		光台寺	奥野 邦雄
	常総	本願寺	本多 俊実
	猿島	宝輪寺	田中 勝道
埼玉	第一	専稱寺	赤羽 道寛
	第四	西運寺	島田 祐孝

滋賀	石川	伊賀	尾張	三河	静岡	長野	富山	新潟	山梨				千葉	神奈川						東京																																														
湖南	甲賀	神埼	能登	屋川	上野	城北	伊賀	尾張	三河	西駿	豐田	碧海	名古屋	建中寺	自然院	安樂	豐岡	高田	内田	富田	神埼	弘誓寺	法林寺	西方寺																																										
牧	永	稻岡	高田	内田	豊岡	安樂	正覺寺	念佛寺	玄幢寺	寶幢寺	長谷院	寶相寺	西光寺	洞泉寺	長善寺	泉泉院	八木	杉浦	永成	悅明	英明	康雅	義昭	鶴岡	法岸寺	清水	諏訪	高内	西迎寺	兼子	服部	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞	正純	光德	明徳	鑑尔	壽康	智安	賢瑞	淳成	悦明	英明	康雅	義昭	俊昭	德昭	聖彦	善政	吉田	長谷川	大泉寺	西願寺	大榮寺	新川	水波	佐渡	山梨	小田原	淨蓮寺	十劫寺	不斷寺	鎌倉	高座	宗仲寺	清林寺	蓮勝寺	大光院	正光寺	東明寺	大嚴寺	大念寺	法問寺	滿光寺	貞源寺	迎接院	泰寿院	廣大寺	光西寺	豐島	城西																	
達玄	進瑞																																																																	

京都	鴨川	一條	八幡	嵯峨	第一	丹後	奈良	和歌山	大阪	兵庫	鳥取	岡山	広島	山口	福岡	長崎																
大津	西福寺	光念寺	観音寺	正定院	称念寺	松林寺	念声寺	第五	和歌山	西牟婁	相坂	大江	西清堀	東清堀	第二河南	泉南	神戶	武崎	甘露寺	安樂寺	浄嚴寺	眞教寺	玄忠寺	戒善寺	清藏寺	定念寺	専光寺	東山寺	教安寺	悟眞寺	長崎	五島
西願寺	光念寺	観音寺	正定院	称念寺	松林寺	念声寺	念佛寺	称念寺	光恩寺	龍泉寺	一運寺	心光寺	顯祥寺	顯長寺	洗心寺	玄清寺	淨福寺	願成寺	通照院	如来院	三枝樹	曾和	永井	無垢品	高雄	加用	井藤	稻田	原橋	木津	和田	專念寺
黒川	八橋	澤田	小嶋	森田	半田	牛田	三宅	志野	江川	藤堂	山田	岡崎	岡崎	北川	石島	杉森	浅野	濱田	佐橋	久松	隆善	宏順	廣道	巖生	準善	雅愛	憲彰	惠一	勇哲	章史	貫隆	
英正	秀雄	裕樹	文明	一応	静雄	法俊	敬宏	寛紹	和樹	俊隆	彰彦	俊光	顯正	顯誠	彦純	隆志	正道	論稔	快雄	亨道	隆善	義雄	廣道	巖生	準善	雅愛	憲彰	惠一	勇哲	章史	貫隆	

正会員（所属は納入時）					
令和3年4月1日（令和4年3月31日）					
【教区／組】					
【寺院名】 【氏名】					
北海道第一		函松		称名寺	高橋 昌宏
				豊國寺	薦 龍明
				稱念寺	井上 歩導
		室蘭		永祿寺	佐藤 曉樹
				満町寺	飯島 英徳
				仙海寺及川	勝芳 聖光
				仙海寺及川	順功 聖光
				仙海寺及川	源應 有光
小樽		東		天土寺	石上 徳史
				大然寺	渡部 昭憲
				浄土寺	小山 英明
西		南		報恩寺	石山 昭憲
				法隆寺	太田 眞琴
				新善光寺	北見 祥隆
				長寿寺	高橋 宗憲
				菩提寺	若木 祐之
				龍雲寺	一立 淨教
				天徳寺	片山 智宣
				阿弥陀寺	松岡 泰信
				北泉岳寺	皆上 俊久
		北		方田寺	周田 昭圓
		弘南		長昌寺	長尾 泰正
				貞昌寺	赤平 法導
		西		法王寺	古川 恵逸
		北		願昌寺	小山内 豊彦
				稱光寺	三藏 英淳
				浄満寺	長尾 拓應
		東青		本覚寺	工藤 量導
				常照寺	篠田 信義
		上北		光明寺	葛田 満永
				多善寺	久慈 成義
		下北		来迎寺	木村 徹雄
				青龍寺	廣田 恭慈
				大泉寺	鈴木 篤雄
		盛岡		圓光寺	岩瀬 光順
				光臺寺	柴垣 崇史
				正覚寺	興信
				善導寺	黒沢 智明
		岩手			

正会員

(所属は納入時)

令和3年4月1日～令和4年3月31日

「教区／組」

〔寺院名〕
〔氏名〕

洛南															伏見																												
三縁寺	淨貞院	阿弥陀寺	海徳寺	恵光院	戀塚寺	誓祐寺	是住院	願生寺	光傳寺	寶圓寺	龍運寺	浄雲寺	西岸寺	阿弥陀寺	松林院	來迎寺	大蓮寺	大信寺	西光寺	三寶寺	勝念寺	光月院	榮運院	正法寺	常念寺	光照寺	觀音寺	常泰寺	誠心寺	蓮乘寺	常安寺	攝取院	竹林寺	西正寺	松林寺	浄篤院	成等院	祐正寺	勝巖院	善福寺	五劫院	福寿院	浄門寺
水谷	松尾	三輪	平	長谷川	安藤	高木	山口	徳山	山中	木村	小坂井	羽田	森	岩井	山村	藤原	光成	宮田	五島	吉水	松葉	林	井畑	長倉雄	澤田	池上	前澤	井上	登田	田村	松葉	浦田	澤崎	月澤	山田	石橋	立田	前田	岩城	大河内	水谷		
正人	浩亮	正仁	祐朋	周豊	和彦	元興	俊弘	貞博	久夫	隆央	義弘	淳弘	法寿	慶信	信雅	弘憲	輝道	典彦	忠住	昭彦	俊明	雅清	大助	良祐	寛成	正康	泰宏	泰信	正樹	昌典	裕人	芳誠	信昭	真照	直樹	要津	歆学	尚楓	隆宏	良治	俊之		

八幡																				宇治																							
妙蓮寺	極樂寺	光福寺	安養寺	称名寺	観音寺	浄安寺	専念寺	圓福寺	迎接寺	西光寺	光念寺	来迎寺	正光寺	阿弥陀寺	阿弥陀寺	蓮台寺	福王寺	浄音寺	阿弥陀寺	因性寺	安養寺	金品寺	西方寺	西導寺	願行寺	正覚院	惠福寺	西方寺	唯心寺	西方寺	福王寺	極樂寺	福應寺	西樂寺	大圓寺	宝迎寺	西念寺	光照寺	法泉寺	常念寺	大念寺	永福寺	
原口	西田	神居	山田	稲田	織田	山路	平岡	平岡	石丸	坂本	林	松岡	小川	漆間	横井	松永	福田	法澤	寺西	宮本	吉水	雲居	藤原	盛田	高志	寺川	光成	正木	吉水	佐藤	高田	八幡	佐藤	河合	徳山	小林	白旗	山本	野田	本多	館	木本	水谷
善弘	浩幸	伸行	祥淳	泰雄	敏嗣	芳範	信亮	廣道	寛太	源道	泰行	洋正	高志	桂俊	隆定	篤信	秀樹	博人	了孝	悠記	常明	崇寛	孟道	真成	聡真	龍親	光一	文宏	雅雄	和彦	浩輝	文雄	博之	廣賢	宏道	正昭	弘昭	正人					

嵯峨										南城										相衆																						
阿弥陀寺	西光寺	長泉寺	往生院	導放院	福泉寺	慰稱寺	導行寺	袋中菴	淨光寺	大龍寺	西福寺	安樂寺	西生寺	深廣寺	極樂寺	長福寺	寶國寺	觀音寺	地藏院	瑞泉寺	安養寺	長光寺	念仏寺	弘願寺	三縁寺	阿弥陀寺	極樂寺	極樂寺	光昭寺	念仏寺	長泉寺	應源寺	西願寺	長福寺	藥師寺	阿弥陀寺	西福寺	西念寺	西方寺	西方寺	想念寺	十輪寺
長澤	木村	水野	吉田	成田	大田	三縁	鈴木	賀郷	山根	佐々木	石津	平尾	河合	青木	竹田	西村	登田	井上	松山	喜早	森	山田	伊東	樺倉	徳光	根来	大塚	川添	家田	西山	三田	大野	小松	梶浦	西本	山口	國子	唐井	加藤			
慈香	信哉	智廣	大治	正善	敬俊	信弘	泰雄	稱圓	英亮	雄俊	幸次	昌隆	信祐	正信	秀應	靜夫	良樹	昌夫	裕康	信定	有浩	祥淳	孝祐	芳彦	史彦	順孝	明人	從道	隆善	豐晴	光信	宏壽	妙瑞	光瑠	英善	明央	雄弘	純正	隆善	章善		

和歌山										奈良										丹後										船桑										龜岡									
加有		第十		第八		第六		第五		第四		第一								丹後																													
稱名寺	樂音寺	極樂寺	超龍寺	奥院	常合寺	本明寺	極樂寺	念佛寺	淨國院	極樂寺	本願寺	常立寺	寶嚴寺	西光寺	長徳寺	榮照院	聖徳寺	天然寺	松林寺	浄仙寺	浄土寺	法鷲寺	安樂寺	浄欣寺	願生寺	教傳寺	大恩寺	晴明寺	常福寺	念佛寺	專念寺	大圓寺	西光寺	極樂寺	浄福寺	小松寺	直指庵	円覚寺	称念寺	薬師寺	法然寺	徳林寺	正定院						
良田	出口	大澤	鷲尾	川中	細川	野島	藤井	三宅	松谷	紀氏	紀氏	柴山	小野	羽瀨	森本	山本	小川	大野	古寺	中島	嵐	田中	加藤	田中	小泉	真田	北元	横田	渡邊	小塚	平田	前田	井上	上田	原	半田	安藤	久松	内藤	森									
秀人	芳演	真我	至導	文教	文明	学道	敬誠	悦成	正明	正明	康彰	泰淳	貞良	照教	明生	光景	正道	法俊	忠夫	和広	典弘	賢祐	辰文	賢祐	範幸	大信	原行	明教	良生	久士	亮氏	秀範	大祐	清志	芳隆	善應	博雄	秀幸	峻道	泰士	一応								

大阪																																											
西牟婁															相阪																												
龍泉寺	法善寺	源正寺	法善寺	西蓮院	見性寺	極樂寺	安樂寺	大圓寺	哀愍寺	淨光寺	大蓮寺	金臺寺	光明寺	善福寺	西照寺	幸念寺	銀山寺	增福寺	大善寺	光善寺	圓通寺	法泉寺	光聖寺	大雲寺	大雲寺	西光院	源光寺	念佛寺	實相寺	天性寺	誓福寺	誓安寺	洞泉寺	大應寺	心眼寺	天乳寺	大信寺	長徳寺	九品寺	奥之坊	冷雲院	蟠龍寺	
田中	神田	中村	山下	飯田	伊藤	家田	齊藤	井桁	片山	長岡	秋田	津留	相原	長雄	正木	柴田	末高	西成	西島	戸井	安達	横瀬	秋田	江崎	杉原	金澤	魚井	龜澤	得田	荳野	小川	山中	荳野	岩崎	橋本	辻	川久保	増山	松田	松田	奥村	谷田	太田
芳道	眞晃	暢時	良寛	順雅	義樹	隆紹	善之	雄弘	雅勝	義宣	正孝	順慈	唯真	隆元	真尚	隆玄	隆玄	隆春	泰史	啓瑞	俊雄	光哉	融志	正悟	利治	博司	哲也	裕昭	克實	清彦	善浩	章裕	忠之	浩基	博嗣	順浩	善隆	隆英	純三	恵三	探成	正敬	

泉北										東撰									
妙香院	法界寺	西福寺	提法寺	源光寺	寿松院	西念寺	理安寺	西王寺	清蓮寺	興樂寺	常福寺	淨福寺	法住寺	長樂寺	考園寺	淨國寺	安樂寺	西觀音寺	法藏寺
豐川	服部	松浦	小林	藤野	小原	中川	杉山	嶋村	足立	川久保	小林	渡辺	飯田	西田	磯部	秦	秦	稔	有豊
佳久	寛雄	可一	忠和	立德	法信	泰伸	俊定	順功	元明	知廣	章道	海昭	俊昭	雅彦	隆齊	博文	隆齊	稔	光彦
河北										北撰									
臺鏡寺	一乘寺	觀音寺	稱念寺	釋尊寺	明遍寺	長福寺	西向寺	來称寺	專稱寺	菩提寺	宗宅寺	福成寺	淨念寺	誓源寺	大心寺	常安寺	淨光寺	宗見寺	光月院
西浦	文庫	横井	岡田	小原	山田	小倉	近藤	松本	眞野	末高	赤木	松壽	中西	坂下	野口	笠井	河合	山田	丹農
道哉	榮達	義寛	恭司	法淳	正進	雅文	泰範	良順	眞順	眞瞳	昭順	時久	雅裕	健雄	耕道	紀彦	達祐	秀知	文洋
兵庫										東撰									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
神戸										泉南									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
武蔵										伊丹									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
石見										岡山									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
鳥取										江津									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
愛媛										福岡									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
松山										宇和島									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
三州										長崎									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
熊本										佐賀									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
大分										福岡									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
五島										長崎									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
平戸										佐賀									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
大諫										福岡									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
長崎										福岡									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
西郷										福岡									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
唐津										福岡									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
儺座										福岡									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時
西郷										福岡									
西蓮寺	法藏寺	專稱寺	觀音寺	心福寺	大泉寺	西福寺	光明寺	正覺寺	西方寺	念仏寺	阿弥陀寺	長樂寺	法然寺	淨泉寺	善性寺	東極樂寺	淨福寺	願成寺	願成寺
釜親	沖永	古野	福原	梨原	大橋	横井	横井	阪口	西田	佐藤	野口	信	館	上續	三輪	前田	浅野	濱田	濱田
康順	泰美	隆昭	俊昭	三良	信雅	眞光	貴道	祐彦	元光	英州	正皓	聖瑞	憲雄	郁夫	常雄	隆啓	孝之	論稔	賢時

浄土宗開教振興協会役員名簿

令和4年9月末日現在

役職	氏名	教区・役職	所属寺院
会 長	川中 光教	宗務総長	
副 会 長	宮林 雄彦	宗務役員	
	樋口 英信	福岡	長徳寺
理 事 長	杉山 俊明	千葉	浄國寺
副理事長	笠原 泰淳	東京	林海庵
常務理事	新谷 仁海	東京	功德林寺
	前田 晃秀	滋賀	若王寺
	山北 光彦	大阪	慧光院
理 事	高橋 宗憲	北海道第二	長専寺
	武田 眞和	岩手	吉祥寺
	高橋 誠実	東京	無量寺
	山下 法彦	伊勢	樹敬寺
	吉田 悦應	福井	大寶寺
	工藤 純裕	鳥取	誓願寺
	永江 憲昭	福岡	一心寺
監 事	松野 瑞光	長崎	法源寺
	土屋 正道	東京	観智院
	中村 在徹	愛媛	浄念寺

① 支援事業

①海外開教区・開教地への支援

■活動費補助（申請に基づく助成金）

- ・北米開教区 ――― 総本山知恩院版「法然上人御法語」英訳本の製作
- ・南米開教区 ――― 訪問布教推進事業（車両購入）
- ・フランス開教地 ― 布教活動用物品購入

②国内開教地域への支援

■教化資料費助成

次の指定地域に対し指定解除までの期間、申請に基づき教化資料購入のための助成金を交付

- ・沖縄県豊見城市及びその近郊（大和田 聖二 師 聖蓮寺 5期目）
- ・宮城県仙台市泉区及び富谷市とその近郊（伊東 秀眞 師 十念寺 1期目）

■活動費補助（申請に基づく助成）

- ・大和田聖二 師 聖蓮寺 申請内容 屋根の増築工事

② 推進事業

■第12回開教公開カンファレンスの開催

- ・日 時 ― 令和3年11月29日(月)午後1時から5時
- ・配信会場 ― 教化研修会館
※WEB会議システムZoomを使用して開催
- ・テ ー マー コロナ禍社会に役に立つお寺に
～今何ができるか～
- ・参加人数 ― 71名

③ 出版事業

- ・開教振興協会会報『開教』第39号発行 7,500部
- ・『Pure Land Life』（英語版）第35号発行 2,500部
- ・『Honen』（英語版）第2号発行、第3号発行 各2,500部

④ 教化資料支援

- ・『浄土宗月訓カレンダー 2022年版』
ハワイ開教区 405部 北米開教区 320部
オーストラリア開教地 100部 フランス開教地 31部
- ・『浄土宗宝暦 2022年版』
ハワイ開教区 25部 北米開教区 50部
オーストラリア開教地 100部 フランス開教地 31部
- ・『浄土宗月訓カレンダー』ポルトガル語版
南米開教区 3,500部
※データを日本で作成後、南米開教区にて印刷・製本

⑤ 勧募事業

- 南米開教区クリチバ日伯寺本堂建立にかかる勧募事業として、趣意書（20万部）を製作。

⑥ 教区報奨金交付

- 令和3年度より会費取りまとめ納入教区にのみ教区報奨金（取りまとめ会員数×1,000円）を交付

※取りまとめ教区：18教区（1組含む）
北海道第一、北海道第二、岩手、埼玉、三河、尾張、岐阜、京都、和歌山、大阪、兵庫、石見、岡山、愛媛、福岡、長崎、大分、長野教区更埴組

⑦ 会員数

- ・名誉会員 0名
- ・賛助会員 0名
- ・正会員 961名

指定寄付納入者（所属は納入時）

令和3年4月1日～令和4年3月31日

〔教区〕
東京 八王子

〔寺院名〕
林海庵

〔氏名〕
笠原 泰淳

〔金額〕 一〇〇、〇〇〇円

オーストラリア・フランス開教地へ

令和3年度
浄土宗開教振興協会歳入歳出決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

基本資金部【歳入の部】

(単位：円)

款 項	目	節	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	予算額との 比較増減	摘要
1.	繰越金		164,010,000	164,010,000	0	令和2年度末の繰越金額
	1. 前年度繰越金		164,010,000	164,010,000	0	
	1. 前年度繰越金	1. 前年度繰越金	164,010,000	164,010,000	0	
2.	会費		0	0	0	
	1. 特別会費		0	0	0	
	1. 名誉会員	1. 名誉会員会費	0	0	0	
	2. 賛助会員	1. 賛助会員会費	0	0	0	
3.	返済金		20,000,000	0	△ 20,000,000	北米開教区事業未執行
	1. 貸付金返済		20,000,000	0	△ 20,000,000	
	1. 貸付金返済	1. 国内開教指定寺院貸付金返済金	0	0	0	
		2. 開教区貸付金返済金	20,000,000	0	△ 20,000,000	
4.	繰入金		0	0	0	
	1. 運用資金部繰入金		0	0	0	
	1. 運用資金部繰入金	1. 運用資金部繰入金	0	0	0	
歳 入 合 計			184,010,000	164,010,000	△ 20,000,000	

基本資金部【歳出の部】

(単位：円)

款 項	目	節	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	予算額との 比較増減	摘要
1.	貸付金支出		70,000,000	30,000,000	△ 40,000,000	南米クリチバ本堂建立事業(3千万)、 北米未執行
	1. 貸付金支出		70,000,000	30,000,000	△ 40,000,000	
	1. 貸付金支出	1. 奨学貸付金	0	0	0	
		2. 開教区貸付金	70,000,000	30,000,000	△ 40,000,000	
		3. 国内開教貸付金	0	0	0	
		4. 運用資金部貸付金	0	0	0	
2.	予備費		114,010,000	0	△ 114,010,000	
	1. 予備費		114,010,000	0	△ 114,010,000	
	1. 予備費	1. 予備費	114,010,000	0	△ 114,010,000	
歳 出 合 計			184,010,000	30,000,000	△ 154,010,000	

本年度基本資金部の歳入総額は、¥164,010,000 である
本年度基本資金部の歳出総額は、 ¥30,000,000 である

したがって、¥134,010,000 を翌年度に繰り越す措置を取る

内 訳	基本資金積立金	¥164,010,000
	貸付金	¥30,000,000
	繰越金	¥134,010,000

運用資金部【歳入の部】

(単位：円)

款 項	目	節	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	予算額との 比較増減	摘要
1.	会費		11,000,000	9,610,000	△ 1,390,000	会員 961 名
	1. 正会員会費		11,000,000	9,610,000	△ 1,390,000	
	1. 正会員会費	1. 正会員会費	11,000,000	9,610,000	△ 1,390,000	
2.	寄付金		22,250,000	1,480,825	△ 20,769,175	オーストラリア1件、フランス1件 南米クリチバ本堂建立事業
	1. 寄付金		22,250,000	1,480,825	△ 20,769,175	
	1. 特別寄付金	1. 一般寄付金	50,000	0	△ 50,000	
		2. 指定寄付金	200,000	100,000	△ 100,000	
	2. 勸募寄付金	1. 勸募寄付金	22,000,000	1,380,825	△ 20,619,175	
3.	財産運用		4,000	3,947	△ 53	
	1. 資金運用		4,000	3,947	△ 53	
	1. 預貯金利子	1. 基本資金利子	3,900	3,894	△ 6	
		2. 運用資金利子	100	53	△ 47	
4.	雑収入		0	0	0	
	1. 雑収入		0	0	0	
	1. 諸収入	1. 諸収入	0	0	0	
5.	繰越金		15,387,765	15,387,765	0	令和3年度会計より
	1. 繰越金		15,387,765	15,387,765	0	
	1. 繰越金	1. 繰越金	15,387,765	15,387,765	0	
歳 入 合 計			48,641,765	26,482,537	△ 22,159,228	

運用資金部【歳出の部】

(単位：円)

款 項	目	節	令和3年度 予算額	令和3年度 決算額	予算額との 比較増減	摘要
1.	事業費		9,940,000	5,325,683	△ 4,614,317	
	1. 支援及び推進費		7,140,000	2,696,418	△ 4,443,582	
	1. 事業支援費	1. ハワイ開教区事業費	0	0	0	
		2. 北米開教区事業費	1,000,000	1,000,001	1	「法然上人御法語」英訳本の製作
		3. 南米開教区事業費	540,000	355,013	△ 184,987	訪問布教用車両購入費補助
		4. 海外開教地事業費	600,000	23,000	△ 577,000	教化活動に係る物品購入
		5. 国内開教指定地域	600,000	360,000	△ 240,000	開教使活動補助
	2. 事業推進費	1. 広報事業費	2,300,000	507,099	△ 1,792,901	開教カンファレンス・PR 動画制作等
		2. 企画調査費	600,000	0	△ 600,000	
		3. 勧募事業費	1,500,000	451,305	△ 1,048,695	南米クリチバ本堂建立事業
	2. 出版費		800,000	726,495	△ 73,505	
	1. 会報発行費	1. 開教発行費	800,000	726,495	△ 73,505	『開教』第 39 号
	3. 教化資料費		2,000,000	1,902,770	△ 97,230	
	1. 教化資料費	1. 教化資料費	2,000,000	1,902,770	△ 97,230	『Pure Land Life』第 35 号、 『Honen』第 2・第 3 号等
2.	寄付金		22,200,000	1,480,825	△ 20,719,175	
	1. 寄付金		22,200,000	1,480,825	△ 20,719,175	
	1. 特別寄付金	1. 指定寄付金	200,000	100,000	△ 100,000	指定寄付金の支出
	2. 勧募寄付金	1. 勧募寄付金	22,000,000	1,380,825	△ 20,619,175	南米クリチバ本堂建立事業
3.	会議費		2,890,000	1,202,080	△ 1,687,920	
	1. 会議費		2,890,000	1,202,080	△ 1,687,920	
	1. 会議費	1. 理事会	1,400,000	655,768	△ 744,232	2 回開催 旅費その他
		2. 常務理事会	600,000	284,780	△ 315,220	3 回開催 旅費その他
		3. 監査会	90,000	85,080	△ 4,920	1 回開催 旅費その他
		4. 企画委員会	800,000	176,452	△ 623,548	6 回開催 旅費その他
4.	事務費		900,000	330,417	△ 569,583	
	1. 事務費		800,000	330,417	△ 469,583	
	1. 事務費	1. 事務費	800,000	330,417	△ 469,583	郵便送達費／振込手数料／その他
	2. 渉外費		100,000	0	△ 100,000	
	1. 渉外費	1. 渉外費	100,000	0	△ 100,000	
5.	賦課徴収費		800,000	701,000	△ 99,000	
	1. 報償費		800,000	701,000	△ 99,000	
	1. 報償費	1. 教区報奨金	800,000	701,000	△ 99,000	教区(組)へ交付 会員数×@1,000
6.	繰出金		0	0	0	
	1. 基本資金部繰出金		0	0	0	
	1. 基本資金部繰出金	1. 基本資金部繰出金	0	0	0	
7.	予備費		11,911,765	0	△ 11,911,765	
	1. 予備費		11,911,765	0	△ 11,911,765	
	1. 予備費	1. 予備費	11,911,765	0	△ 11,911,765	
歳 出 合 計			48,641,765	9,040,005	△ 39,601,760	

本年度運用資金部の歳入総額は、¥ 26,482,537 である

本年度運用資金部の歳出総額は、¥ 9,040,005 である

したがって、次の会計余剰金が生じたので、翌年度に繰り越す措置を取る

本年度の運用資金部余剰金 ¥ 17,442,532

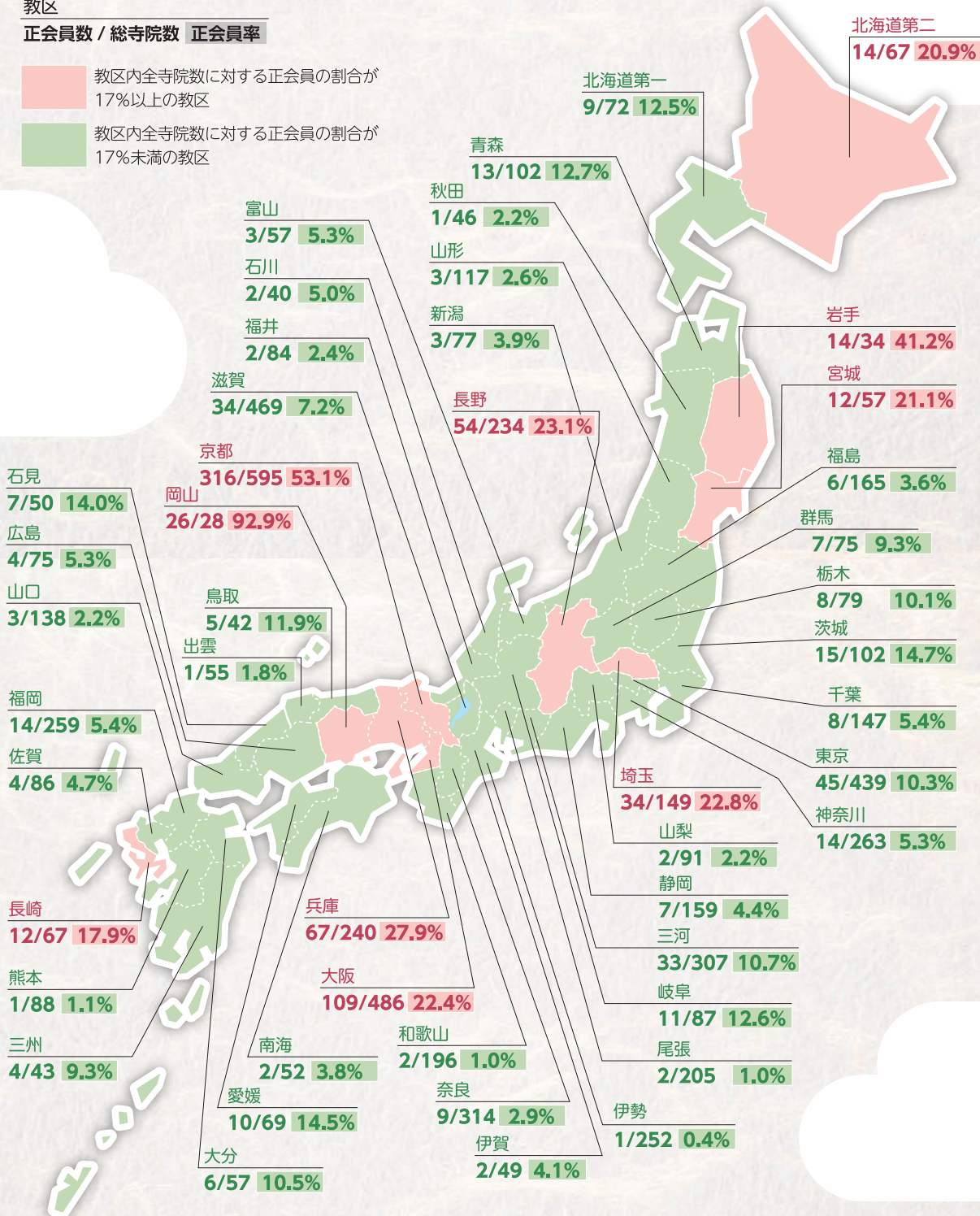
令和3年度 浄土宗開教振興協会教区別会員数

会員数1,200名(全寺院数の約17%)を目標としております。
ご協力をお願いいたします。

教区

正会員数 / 総寺院数 正会員率

- 教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%以上の教区
- 教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%未満の教区



海外開教や開教振興協会への思い

長野教区伊那組 柏心寺 安静 達祐

1894年(明治27年)3月、ハワイ移住出稼ぎ人のため専任布教師としてホノルルに着任された松尾諦定師の出家寺である柏心寺現住職の安静達祐と申します。

ハワイ開教第一任者、松尾諦定師の開教仏縁によりハワイはもとより、戦前の沖縄・袋中寺赴任の小池晃成師及び、現南米開教区イビウナ日伯寺櫻井聡祐開教使も拙寺の出身です。また、昭和・平成・令和にかけて現役の原源照開教使先生も信州飯田の同郷同胞です。

私が大学時代に単身訪問したハワイ開教区各寺院での思い出。浄土宗青年会で奉仕した北米別院移転新築落慶式参列。ブラジルマリナ日伯寺老人ホーム開所式に参列。南米開教区イビウナ日伯寺開設準備と落慶大法要参列。オーストラリアブリスベンの開教区開設開所式参列。何度も海外開教区に足を運び多くの開教使先生方と仏縁交流させていただきました。

2013年5月にマウイ島ラハイナ浄土院を訪れた折に原開教使先生は「ハワイの海の潮音は、法然上人の共生・ともいきとして世界各地の開教区に念音となつて、念仏信仰が受け継がれる」と申されました。以後私は、開教区全般に対する強い思いを深く持ち続けています。

浄土宗新聞6月号表紙に掲載された「クリチバ日伯寺本堂建立」の記事を見て、開教寺院への更なる振興協力する自身のモチベーションが高鳴ります。

合掌

編集後記

浄土宗開教振興協会会報「開教」をご拝読いただき、誠にありがとうございます。

当協会会員の皆様、関係ご寺院の皆様におかれましては、平素より格別なるご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様ご高承のことと存じますが、当協会では、海外・国内における本宗開教活動の現状のご報告と、開教活動へのさらなるご支援を得ることを目的に、会報誌としてこの「開教」を発刊いたしております。

この度、第40号となる本号におきましては、引き続き世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、それぞれ工夫を凝らしながら教化活動に精励される各海外開教区・海外開教地・国内開教寺院の活動をお伝えすべく、令和3年度の活動報告という形でご寄稿いただき、製作することができました。

また、本誌でも触れさせていただいておりますが、本年1月より、南米開教区クリチバ日伯寺本堂建立にかかる勧募を開始しております。皆様におかれましては、趣旨ご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当協会では、本誌掲載の各地での活動をはじめ、様々な開教活動に対し、その一助となるべく種々の支援を継続して行つてまいります。

今後より一層、各海外開教区・海外開教地・国内開教寺院の発展にご尽力を賜りますと幸甚に存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、本号発刊にあたり、ご寄稿を賜りました諸師、ご協力いただきました全ての皆様へ深く感謝いたします。

今後とも紙面充実を目指してまいりますので、ご教導のほどよろしくお願い申し上げます。

合掌

開教 第40号

令和4年9月30日発行

編集／発行 浄土宗開教振興協会
東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部内
Tel.03-3436-3351 Fax.03-3434-0744

制 作 表紙・デザイン：株式会社 北陸スタッフ
印刷・製本：株式会社 共立社印刷所



浄土宗開教振興協会ご入会のお願い

浄土宗開教振興協会は、昭和51年の設立以来、開教活動を支援してまいりました。

海外開教については、既存の開教区に加えて、平成15年に海外開教地として指定されたオーストラリア、フランスの2地区に対しても支援しております。

また、国内開教についても、多くの国内開教使の活動に対して、平成15年より本格的に支援を開始しております。

新たにお念仏をひろめるための礎が徐々に、確実に進んでおりますが、国内外ともに、これらの事業を円滑に遂行させるためには、開教振興協会の正会員増加による活動資金の強化安定は絶対条件であります。当協会の支援活動を尚一層充実させるため、一人でも多くの教師諸大徳に「正会員」としてのご入会をお願い申し上げます。

※協会の会費・寄付は功績点が付与されます。

※ご入会の有無がご不明な方は、担当までお問い合わせください。

本協会は 次の事業を行っております

- ① 開教思想の普及徹底
- ② 開教事業の調査研究
- ③ 国内開教指定地域への助成
- ④ 海外開教区・開教地への助成
- ⑤ 開教使の養成

会費の納入および 新会員の入会について

所属教区教務所を経てご納入またはご入会いただくか、下記の口座に直接ご納入くださいますようお願い申し上げます。

寄付金および会費振込口座

郵便振替 00160-5-175767
浄土宗開教振興協会

会員の種類

- ① 名誉会員 本協会の基本資金として100万円以上の寄付をされた方・本協会に特に功労があり理事会で推薦された方
- ② 賛助会員 本協会の基本資金として20万円以上の寄付をされた方
- ③ 正会員 本協会の運用資金として年額1万円の会費を納入された方

功績点の付与

寄付金および会費については、次のように功績点が付与されます。

- ① 一般勧募寄付金
・20万円に対して1点
- ② 個人寄付金
・5万円に対して1点

【問合先】	浄土宗開教振興協会	〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会部内 TEL:03-3436-3351 FAX:03-3434-0744
【Web】	浄土宗開教ネット	URL: https://kaikyonet.jodo.or.jp/

